

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 広島県尾道市立山波小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒722-0052
広島県尾道市山波町1630番地

E-mail samba-e@onomichi.ed.jp

Website http://www.onomichi.ed.jp/samba-e/

児童生徒数 男子 127名 女子 110名 合計 237名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ ）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

【地域・地元農業・伝統文化等】

ア 3年生

「山波の自慢を見つけよう」と題して、地元の特産物を学習し、地域の良さを学んでいる。具体的には、県内有数の産地であるイチジクの栽培・みかん栽培についての思いや作業等について学んでいる。さらに、地域の名人を探し、その名人の技を見せていただく等している。

イ 4年生

「山波の伝統文化にふれあおう」と題して、山波の自慢である「山波神楽」「餅つき神事」「山波とんど」について、調べたり聞き取りをしたりして学んでいる。本年度は、壁新聞づくりやカルタづくりを通して、学習を深めた。本校子ども会活動にも「餅つき神事」「山波とんど」の祭りを位置づけ、活動を継続している。

「餅つき神事」は6年生で、「山波とんど」は4, 5, 6年生が参加をしている。

地元の方々は、こうして祭りに参加することを通して、次の担い手として成長して欲しいと期待されている。

ウ 5年生

「宝を育む山波の洲」と題して、県内有数のアサリの産地であった「山波の洲」について調べることを通して、環境問題を考えている。年々、アサリが減少する中で、地元漁協や行政が調査し改善を図る事業を行っている。本年度は、「山波の洲」休漁に伴い、百島試験場の見学やアサリ漁の歴史、アサリ料理等を学びながら、環境問題を学習している。

エ 6年生

「12歳のハローワーク PART II」と題して、地域の職業について調べたり、地域の伝統の祭り「餅つき神事」「山波とんど」に参加したりしている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）